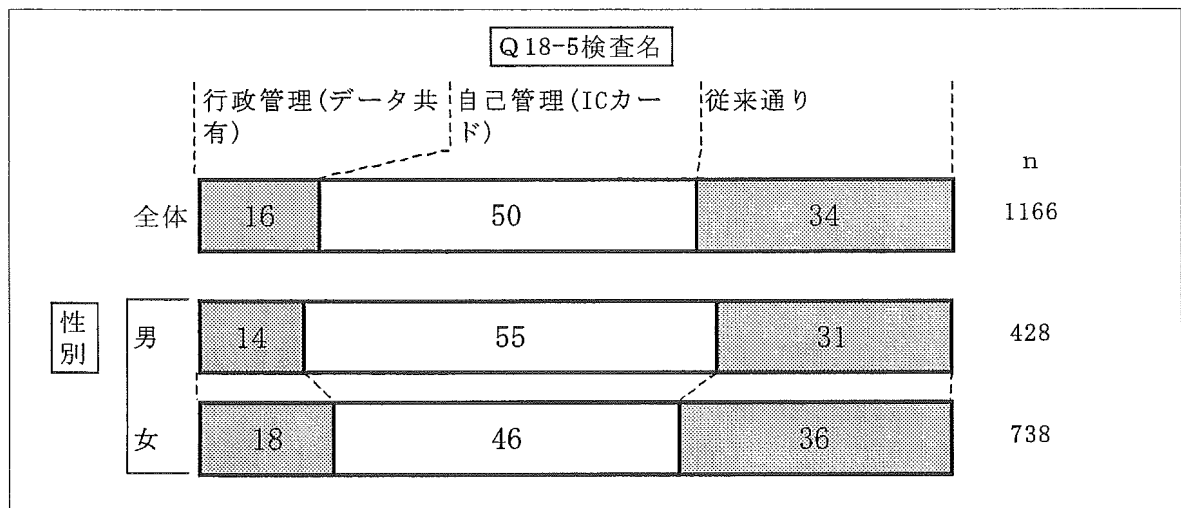


問 18-5 「IC カードに組み込むべき項目」と「男女」のクロス集計.

質問方法：

「IC カードに保険証の機能を組み込み個人単位で管理することで、コンパクトに持ち運べる利便性があります。IC カードに検査名を組み込むべきと思うか」

		合計	Q18-5検査名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	186	563	394	23
		100.0	16.3	49.3	34.5	
性別	男	428	57	233	131	7
		100.0	13.5	55.3	31.1	
	女	738	129	330	263	16
		100.0	17.9	45.7	36.4	



<考察>

個人管理の割合が約半数，行政管理の割合が少ない。また，男女差はあまりない。

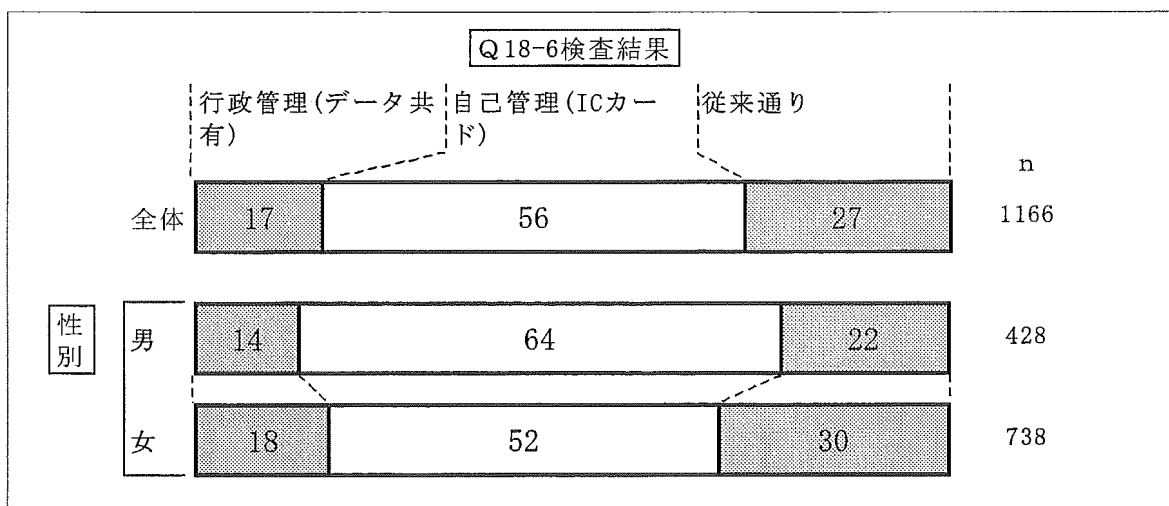
検査名は，過去に患者がどのような病気になり，そしてどのような検査を受けたか，ということが専門家の目から見れば一目瞭然である。一方で，情報共有すると，悪用される危険性が高い。そのため，プライバシーの保護を訴える人が多いためと考える。

問 18-6 「IC カードに組み込むべき項目」と「男女」のクロス集計.

質問方法：

「IC カードに保険証の機能を組み込み個人単位で管理することで、コンパクトに持ち運べる利便性があります. IC カードに検査結果を組み込むべきと思うか」

		合計	Q18-6検査結果			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	189 16.5	645 56.4	310 27.1	22
性別	男	428 100.0	57 13.5	270 64.1	94 22.3	7
	女	738 100.0	132 18.3	375 51.9	216 29.9	15



<考察>

個人管理の割合が約半数，行政管理の割合が少ない. また，男女差はあまりない.

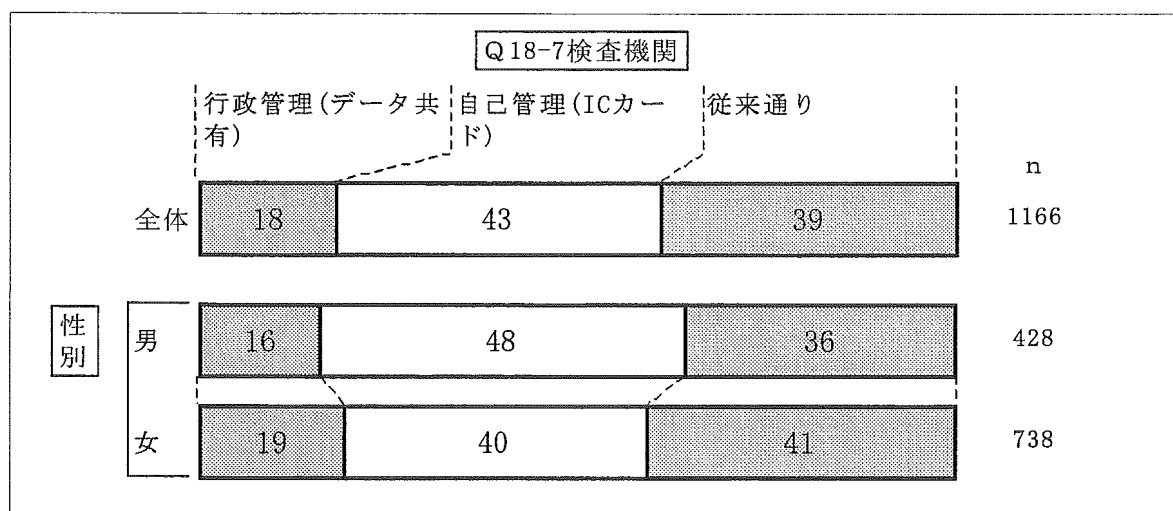
検査名は，過去に患者がどのような病気になり，そしてどのような検査を受けたか，ということが専門家の目から見れば一目瞭然である. 一方で，情報共有すると，悪用される危険性が高い. そのため，プライバシーの保護を訴える人が多いためと考える

問 18-7 「IC カードに組み込むべき項目」と「男女」のクロス集計.

質問方法：

「IC カードに保険証の機能を組み込み個人単位で管理することで，コンパクトに持ち運べる利便性があります．IC カードに検査機関を組み込むべきと思うか」

		合計	Q18-7検査機関			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	203 17.8	487 42.8	448 39.4	28
性別	男	428 100.0	68 16.2	200 47.5	153 36.3	7
	女	738 100.0	135 18.8	287 40.0	295 41.1	21



<考察>

個人管理の割合が約半数，行政管理の割合が少ない．また，男女差はあまりない．

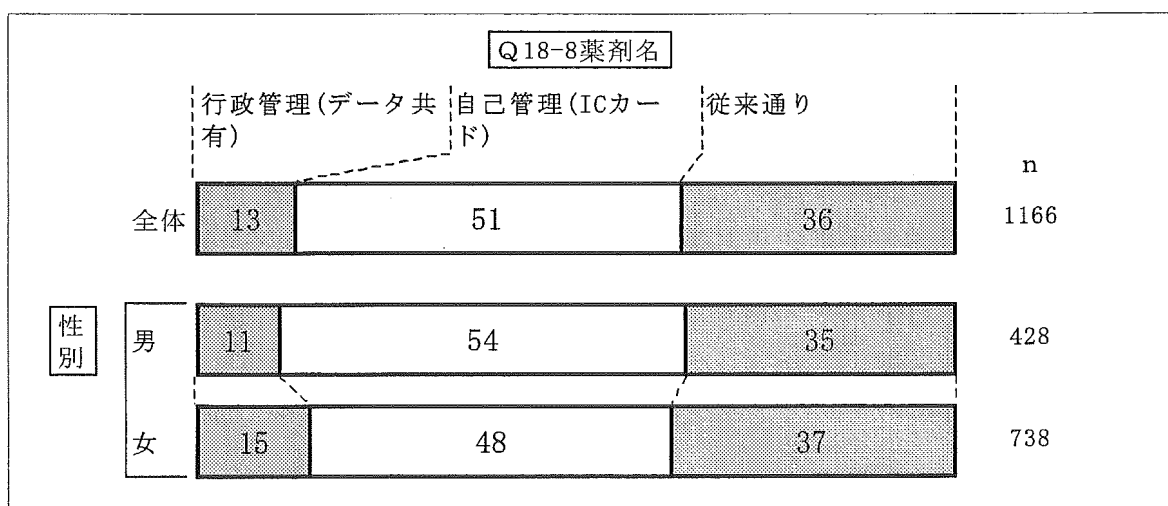
検査機関名は，検査名と同様，過去に患者がどのような病気になり，そしてどのような検査を受けたか，ということが専門家の目から見れば一目瞭然である．一方で，情報共有すると，悪用される危険性が高い．そのため，プライバシーの保護を訴える人が多いためと考える

問 18-8 「IC カードに組み込むべき項目」と「男女」のクロス集計.

質問方法：

「IC カードに保険証の機能を組み込み個人単位で管理することで、コンパクトに持ち運べる利便性があります。IC カードに薬剤名を組み込むべきと思うか」

		合計	Q18-8薬剤名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	151 13.2	578 50.7	412 36.1	25
性別	男	428 100.0	46 10.9	226 53.7	149 35.4	7
	女	738 100.0	105 14.6	352 48.9	263 36.5	18



<考察>

個人管理の割合が約半数，行政管理の割合が少ない。また，男女差はあまりない。

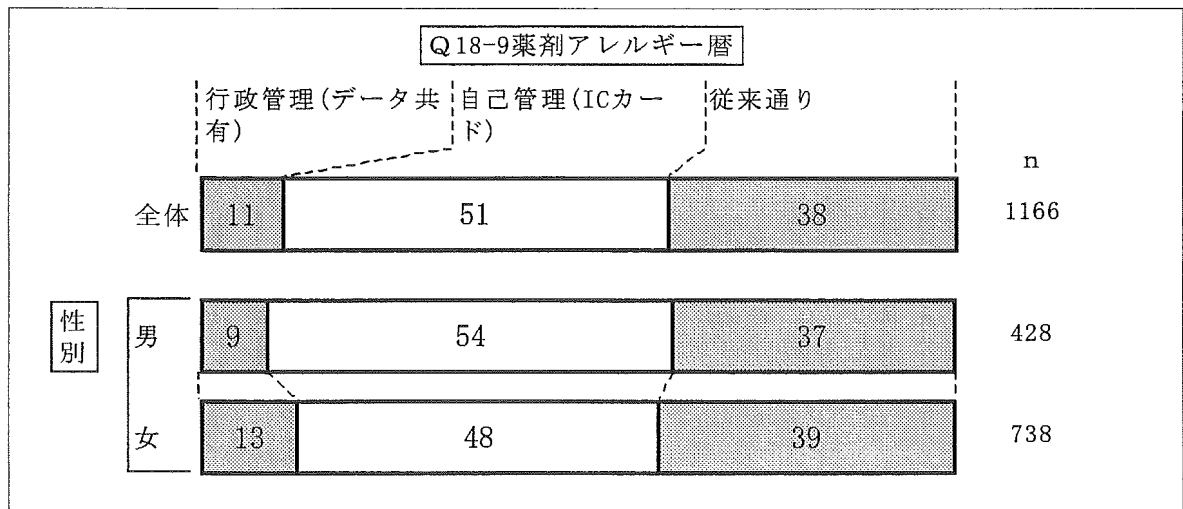
薬剤名は，過去に患者がどのような病気になり，そしてどのような投薬を受けたか，ということが専門家の目から見れば一目瞭然である。一方で，情報共有すると，悪用される危険性が高い。そのため，プライバシーの保護を訴える人が多いためと考える。

問 18-9 「IC カードに組み込むべき項目」と「男女」のクロス集計.

質問方法：

「IC カードに保険証の機能を組み込み個人単位で管理することで、コンパクトに持ち運べる利便性があります。IC カードに薬剤アレルギー歴を組み込むべきと思うか」

		合計	Q18-9薬剤アレルギー歴			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	129	577	433	27
		100.0	11.3	50.7	38.0	
性別	男	428	37	228	154	9
	女	738	92	349	279	18
		100.0	12.8	48.5	38.8	



<考察>

個人管理の割合が約半数，行政管理の割合が少ない。また，男女差はあまりない。

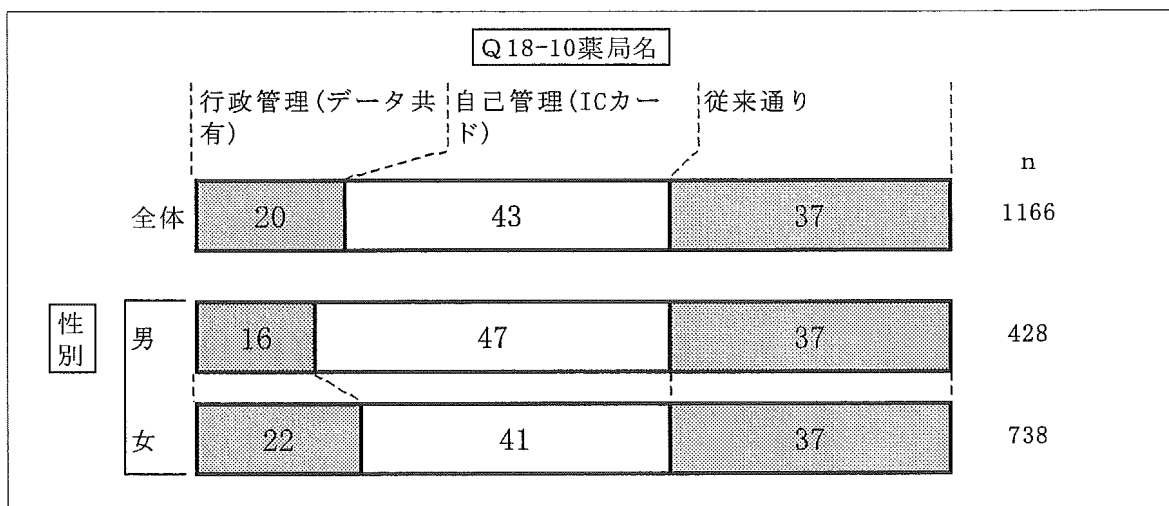
薬剤アレルギー歴は，過去に患者がどのような病気になり，そしてどのような投薬を受けたか，ということが専門家の目から見れば一目瞭然である。一方で，情報共有すると，悪用される危険性が高い。そのため，プライバシーの保護を訴える人が多いためと考える。

問 18-10 「IC カードに組み込むべき項目」と「男女」のクロス集計.

質問方法：

「IC カードに保険証の機能を組み込み個人単位で管理することで、コンパクトに持ち運べる利便性があります. IC カードに薬局名を組み込むべきと思うか」

		合計	Q18-10薬局名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	222 19.5	492 43.3	422 37.1	30
性別	男	428 100.0	66 15.8	197 47.1	155 37.1	10
	女	738 100.0	156 21.7	295 41.1	267 37.2	20



<考察>

個人管理の割合が約半数，行政管理の割合が少ない．また，男女差はあまりない．

薬局名は，過去に患者がどのような病気になり，そしてどのような投薬を受けたか，ということが専門家の目から見れば一目瞭然である．一方で，情報共有すると，悪用される危険性が高い．そのため，プライバシーの保護を訴える人が多いためと考える．

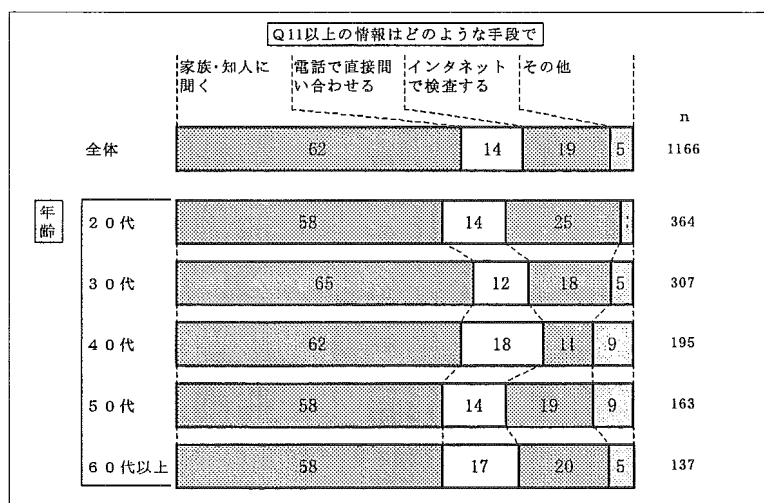
「年齢」と問 11「情報を手に入れる手段」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたの年齢は」

「情報をあなたは今まで主にどのような手段で手に入れていますか」

		合計	Q11以上の情報ほどのような手段で				不明
			家族・知人に聞く	電話で直接問い合わせる	インターネットで検査する	その他	
全体		1166 100.0	706 61.0	165 14.3	223 19.3	63 5.4	9
年齢	20代	364 100.0	213 58.7	50 13.8	90 24.8	10 2.8	1
	30代	307 100.0	198 65.3	36 11.9	55 18.2	14 4.6	4
	40代	195 100.0	121 62.4	34 17.5	21 10.8	18 9.3	1
	50代	163 100.0	94 58.8	22 13.8	30 18.8	14 8.8	3
	60代以上	137 100.0	80 58.4	23 16.8	27 19.7	7 5.1	0



<考察>

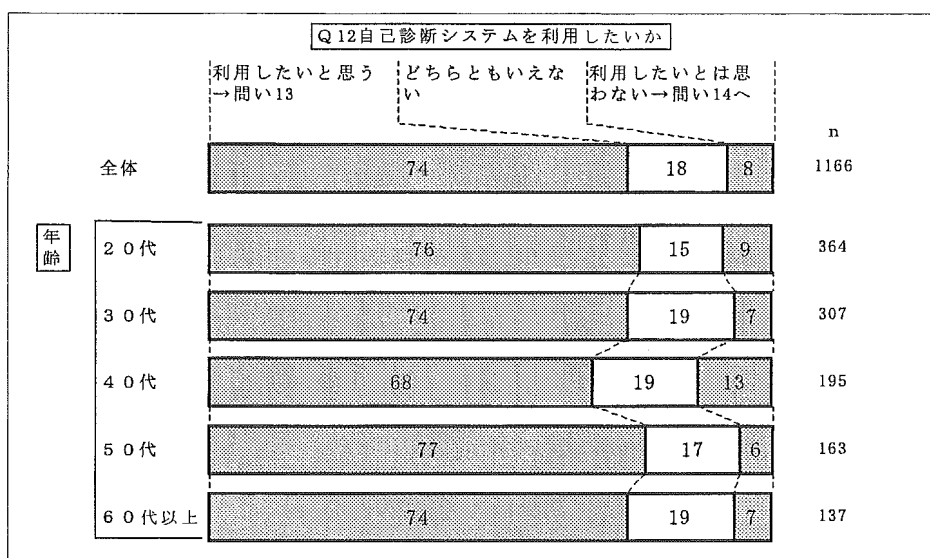
病院にかかる前に知りたい情報を入手する手段の中では、「家族・知人に聞く」が最も多く、すべての年齢において60%近い。また、「電話で直接問い合わせる」よりも「インターネットで検査する」ほうが若干多い。このことから、患者はインターネットや電話などで病院側から提供される情報よりも、家族・知人など、自分の信頼できる人からの経験や知識の方を信頼していることが分かる。また、年齢を重ねるごとにインターネットの利用が少なくなることが予想されたが、そのようなことはなく、年齢に関わらずインターネットを利用して情報を入手していることがわかる。

「年齢」と問 12「自己診断ができる仕組みを利用したいと思うか」のクロス集計分析  
質問方法：

「あなたの年齢は」

「あなたは病状をインターネットで自己診断ができる仕組みを利用したいと思いますか」

		合計	Q 12 自己診断システムを利用したい			不明
			利用したいと思う → 問い 13	どちらともいえない	利用したいとは思わない → 問い 14へ	
全体		1166 100.0	858 73.9	205 17.7	98 8.4	5
年齢	20代	364 100.0	276 76.0	56 15.4	31 8.5	1
	30代	307 100.0	226 74.1	57 18.7	22 7.2	2
	40代	195 100.0	131 67.2	38 19.5	26 13.3	0
	50代	163 100.0	123 76.4	28 17.4	10 6.2	2
	60代以上	137 100.0	102 74.5	26 19.0	9 6.6	0



<考察>

年齢にかかわらず自己診断システムを利用したいと思う人が多数存在することが分かる。しかし、この中でも 40代が利用に消極的である。これは、40代は働き盛りで健康を気づかう時間が少ないため、自己診断システムを利用するよりも直接病院に行ったほうがよいと考えているのかもしれない。



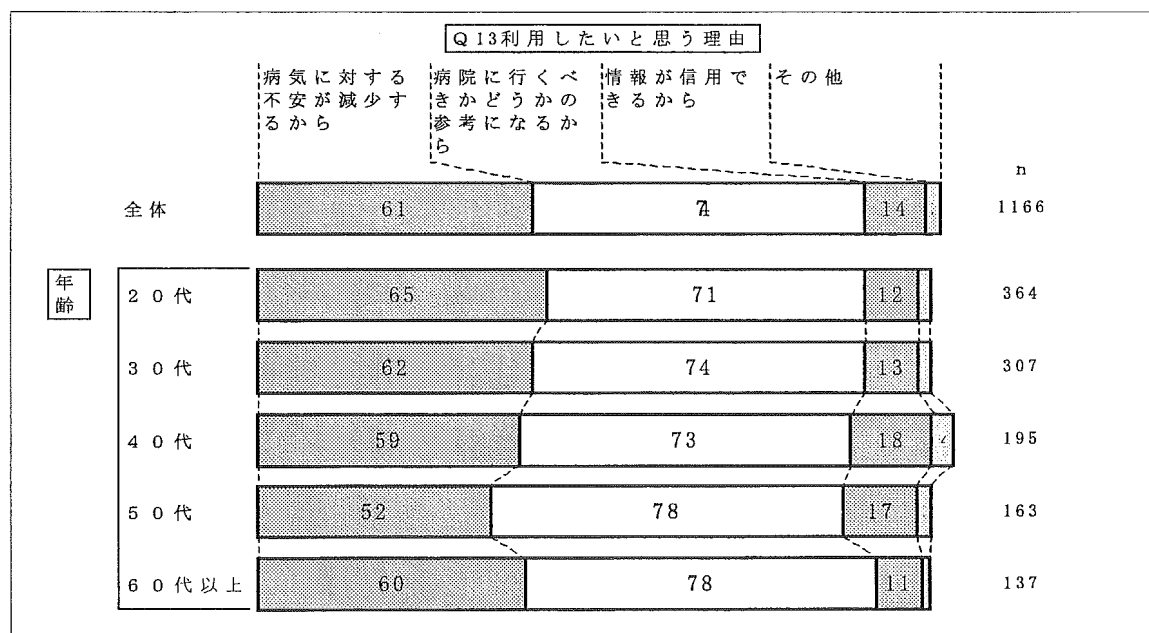
「年齢」と問 13「利用したいと思う理由」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたの年齢は」

「利用したいと思う理由は何ですか」

		合計	Q13利用したいと思う理由					非該当
			病気に対する不安が減少するから	病院に行くべきかどうかの参考になるから	情報が信用できるから	その他	不明	
全体		1166 100.0	533 60.9	647 73.9	120 13.7	26 3.0	0	291
年齢	20代	364 100.0	182 65.0	200 71.4	34 12.1	7 2.5	0	84
	30代	307 100.0	143 62.2	170 73.9	30 13.0	8 3.5	0	77
	40代	195 100.0	81 59.1	100 73.0	24 17.5	5 3.6	0	58
	50代	163 100.0	65 52.0	97 77.6	21 16.8	4 3.2	0	38
	60代以上	137 100.0	62 60.2	80 77.7	11 10.7	2 1.9	0	34



<考察>

各年代に共通して、「病院に行くべきかどうかの参考になるから」と答えた人が最も多い。このことから、自己診断システムによって自分の症状に対する対処法を知りたいと考えていることがわかる。また、「病気に対する不安が減少するから」と答えた人が次いで多く、自己診断システムによって病院に行く前に不安を減少したいと考えていることが分かる。しかしながら、情報の信頼性は低い結果となった。また、年代による違いは見られない。

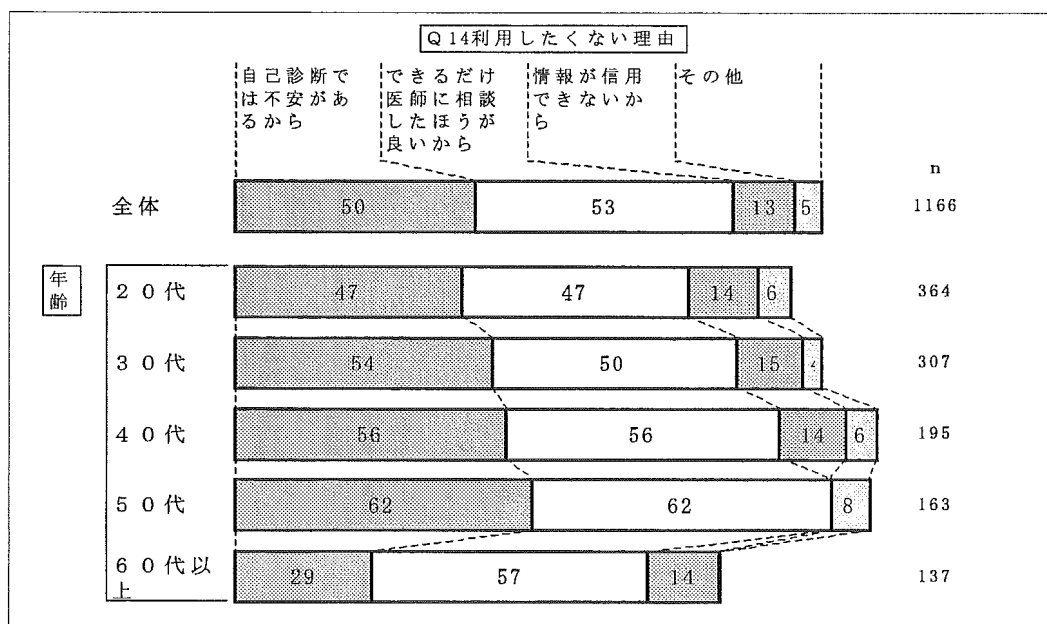
「年齢」と問 14「利用したくないと思う理由」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたの年齢は」

「利用したくないと思う理由は何ですか」

		合計	Q14利用したくない理由				不明
			自己診断では不安があるから	できるだけ医師に相談したほうが良いから	情報が信用できないから	その他	
全体		1166 100.0	63 50.4	66 52.8	16 12.8	6 4.8	0
年齢	20代	364 100.0	17 47.2	17 47.2	5 13.9	2 5.6	0
	30代	307 100.0	14 53.8	13 50.0	4 15.4	1 3.8	0
	40代	195 100.0	20 55.6	20 55.6	5 13.9	2 5.6	0
	50代	163 100.0	8 61.5	8 61.5	0 0.0	1 7.7	0
	60代以上	137 100.0	4 28.6	8 57.1	2 14.3	0 0.0	0



<考察>

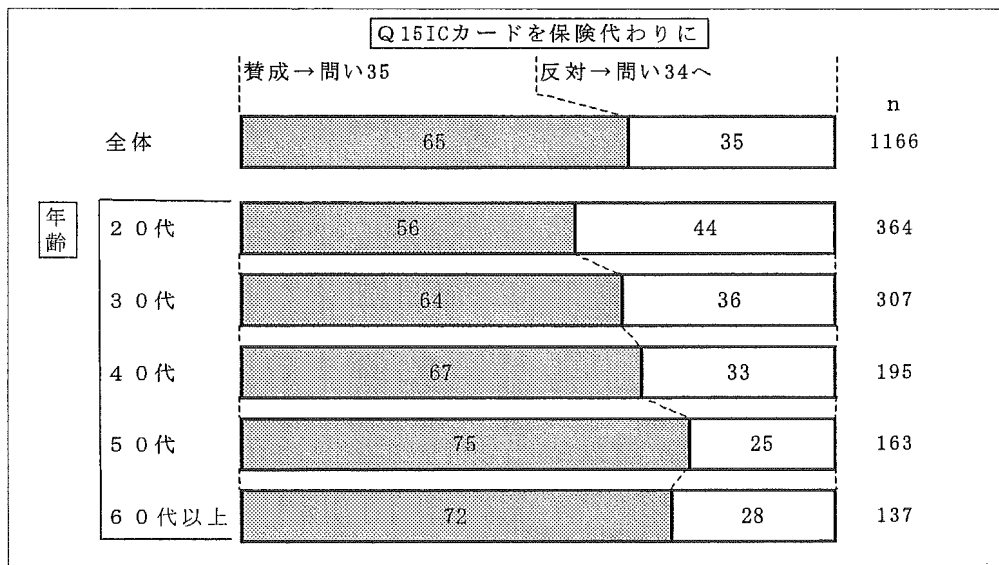
全体としては、情報が信頼できないというわけではないが、自己診断では不安であり、医師に直接相談したいと考えていることが分かる。また、50代は情報が信頼できないという人はいなかった。また、60代以上は全体に比べて自己診断を不安に思っていないことが分かる。これは、自分の症状に対して知識が多く、ある程度の予測ができるためだと考えられる。

「年齢」と問 15 「IC カードを保険証の代わりにすることの是非」のクロス集計分析  
 質問方法：

「あなたの年齢は」

「IC カードに保険証の機能を組み込むことに賛成ですか」

		合計	Q 15 ICカードを保険代わりに		
			賛成→問 い17	反対→問 い16へ	不明
全体		1166 100.0	750 64.7	410 35.3	6
年齢	20代	364 100.0	204 56.4	158 43.6	2
	30代	307 100.0	196 64.1	110 35.9	1
	40代	195 100.0	130 67.0	64 33.0	1
	50代	163 100.0	121 75.2	40 24.8	2
	60代以上	137 100.0	99 72.3	38 27.7	0



<考察>

全体としては、IC カードを保険証代わりにしてもいいという人の方が多い。このことから、IC カードの利便性に対する注目度が高いことが分かる。また、年代が高くなるにつれて、賛成の割合が高くなっている。これは、高齢者ほど保険証を利用する機会が多いため、IC カードに組み込むことでその利便性に期待しているためであると考えられる。20代については賛成と反対が半々くらいになっている。

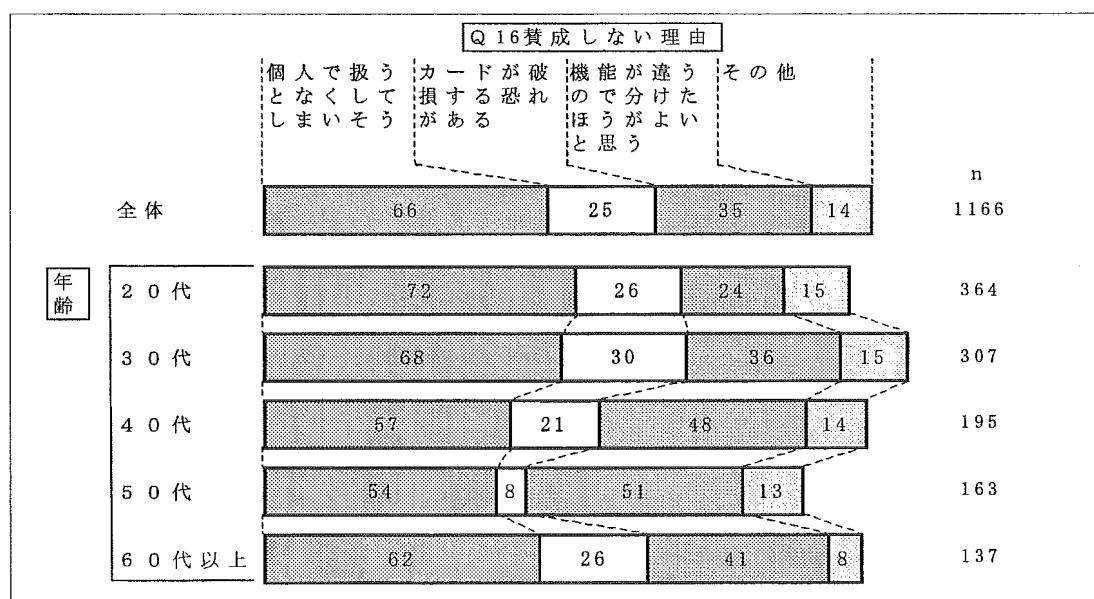
「年齢」と問 16 「IC カードを保険証の代わりにすることに賛成しない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたの年齢は」

「IC カードに保険証の機能を組み込むことに賛成しない理由は何ですか」

		合計	Q16賛成しない理由				不明	非該当
			個人で扱うとなくしてしまいそう	カードが破損する恐れがある	機能が違うので分けたほうがよいと	その他		
全体		1166 100.0	269 65.9	100 24.5	143 35.0	56 13.7	0	758
年齢	20代	364 100.0	114 72.2	41 25.9	38 24.1	23 14.6	0	206
	30代	307 100.0	74 67.9	33 30.3	39 35.8	16 14.7	0	198
	40代	195 100.0	36 57.1	13 20.6	30 47.6	9 14.3	0	132
	50代	163 100.0	21 53.8	3 7.7	20 51.3	5 12.8	0	124
	60代以上	137 100.0	24 61.5	10 25.6	16 41.0	3 7.7	0	98



<考察>

全体では「個人で扱うとなくしてしまいそう」が最も多く、「カードが破損する恐れがある」がもっとも少ない。このことから、IC カードを携帯することによる危険性がもっとも心配されていることが分かる。50代まではこの項目の割合が減少傾向にあることから、年齢が高くなるにつれてカード管理が正確になっていることが分かる。また、60代になるとカードの管理能力が低下することから、紛失の不安が高まると考えられる。

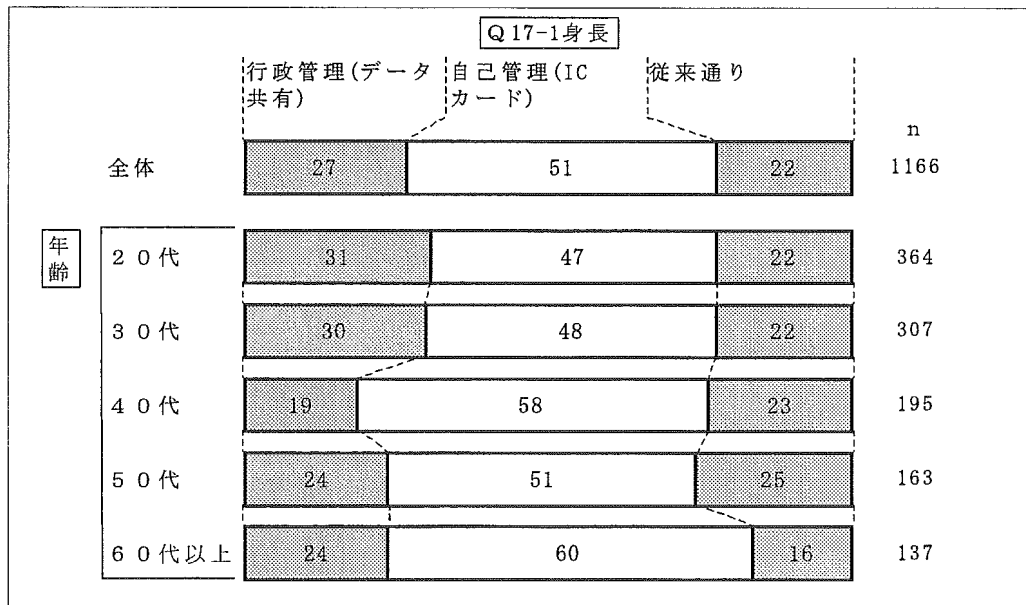
「年齢」と問 17-1「どのように身長情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の身長情報を管理したいですか」

		合計	Q17-1身長			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	272 26.9	518 51.3	220 21.8	156
年齢	20代	364 100.0	92 31.4	137 46.8	64 21.8	71
	30代	307 100.0	83 30.2	132 48.0	60 21.8	32
	40代	195 100.0	33 19.3	99 57.9	39 22.8	24
	50代	163 100.0	35 23.6	76 51.4	37 25.0	15
	60代以上	137 100.0	29 23.6	74 60.2	20 16.3	14



<考察>

全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、身長については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると40代が顕著に行政管理に対して消極的である。このことから、40代の情報に対する高い守備意識が見て取れる。また、20代・30代は行政管理が30%を超えている。このことから、年代が若いと情報漏えいの危険性よりも、利便性の向上を望む傾向が他の年代よりも強いことが分かる。

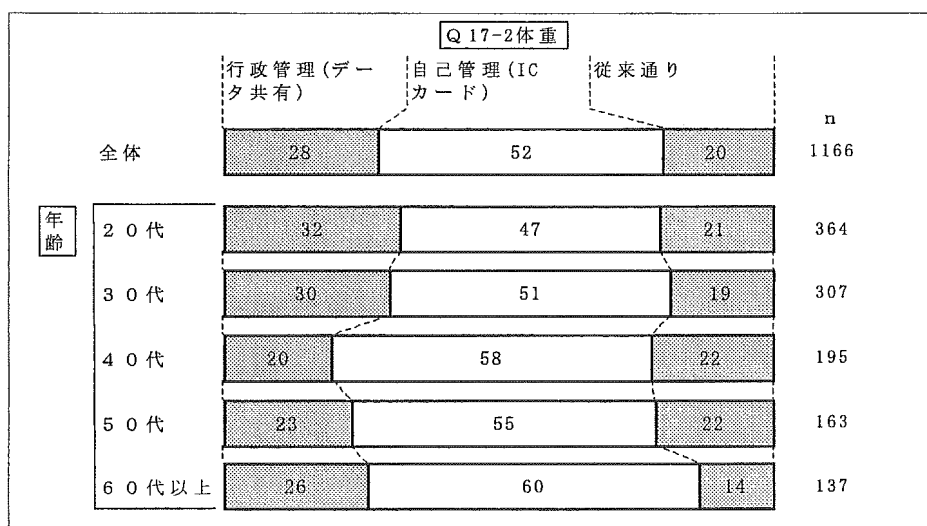
「年齢」と問 17-2「どのように体重の情報を管理したいか」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の体重の情報を管理したいか」

		合計	Q 17-2体重			不明
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	278 27.6	529 52.5	200 19.9	159
年齢	20代	364 100.0	93 32.1	137 47.2	60 20.7	74
	30代	307 100.0	84 30.4	139 50.4	53 19.2	31
	40代	195 100.0	35 20.5	99 57.9	37 21.6	24
	50代	163 100.0	34 23.1	80 54.4	33 22.4	16
	60代以上	137 100.0	32 26.0	74 60.2	17 13.8	14



<考察>

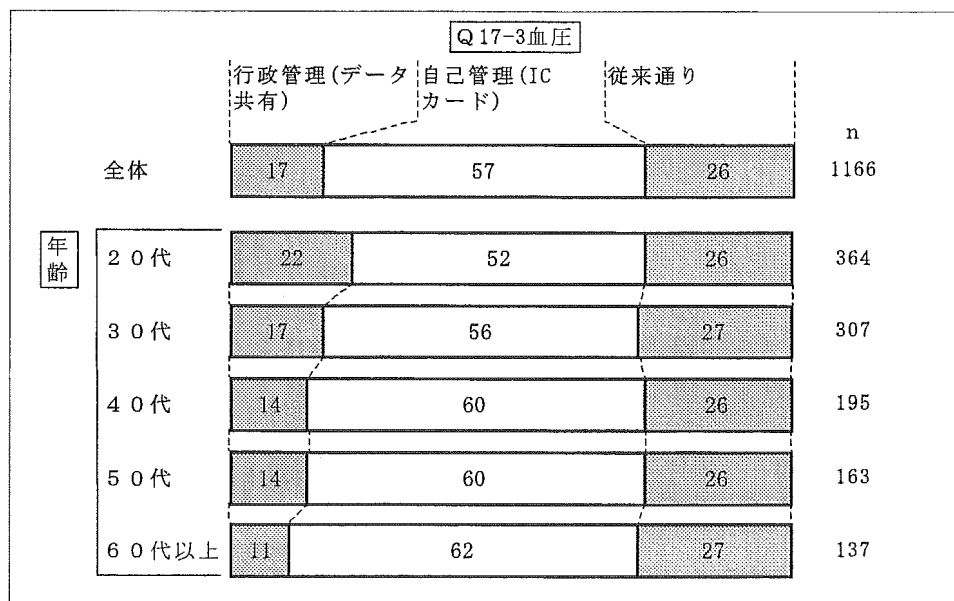
全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、体重については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると40代が顕著に行政管理に対して消極的である。このことから、40代の情報に対する高い守備意識が見て取れる。また、20代・30代は行政管理が30%を超えている。このことから、年代が若いと情報漏えいの危険性よりも、利便性の向上を望む傾向が他の年代よりも強いことが分かる。

「年齢」と問 17-3「どのように血圧の情報を管理したいか」のクロス集計分析  
 質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の血圧の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-3血圧			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	168 16.6	577 57.1	265 26.2	156
年 齢	20代	364 100.0	64 21.8	154 52.6	75 25.6	71
	30代	307 100.0	46 16.7	156 56.5	74 26.8	31
	40代	195 100.0	24 14.0	102 59.6	45 26.3	24
	50代	163 100.0	21 14.3	88 59.9	38 25.9	16
	60代以上	137 100.0	13 10.6	77 62.6	33 26.8	14



<考察>

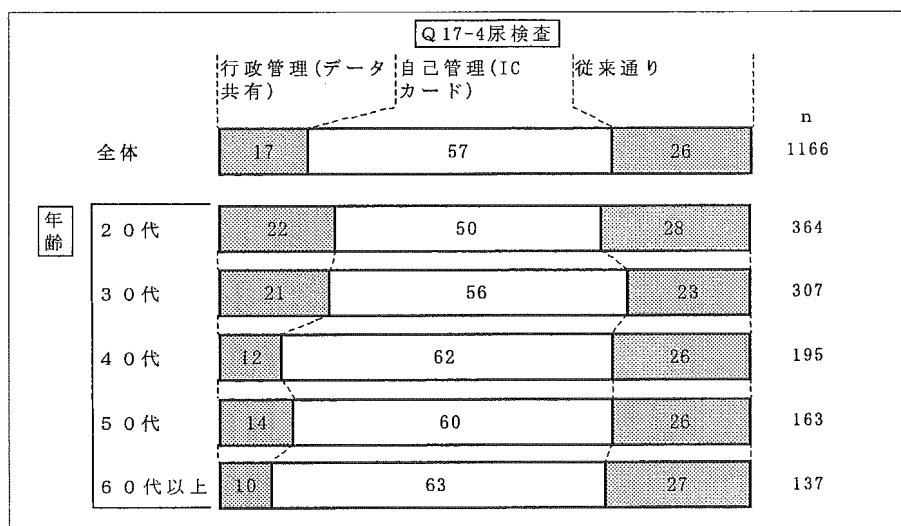
全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、血圧については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると年齢が高くなるにつれて自己管理の割合が高く、行政管理の割合が低くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、血圧という情報が漏えいされたくないことが分かる。特に、60代以上は顕著に行政管理に対して消極的である。

「年齢」と問 17-4「どのように尿検査の情報を管理したいか」のクロス集計分析  
質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の尿検査の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-4尿検査			不明
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	
全体		1166 100.0	174 17.3	573 56.9	260 25.8	159
年 齢	20代	364 100.0	64 21.9	146 50.0	82 28.1	72
	30代	307 100.0	57 20.7	156 56.7	62 22.5	32
	40代	195 100.0	21 12.3	105 61.4	45 26.3	24
	50代	163 100.0	20 13.6	89 60.5	38 25.9	16
	60代以上	137 100.0	12 9.8	77 63.1	33 27.0	15



#### <考察>

全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、尿検査については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると年齢が高くなるにつれて自己管理の割合が高く、行政管理の割合が低くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、尿検査という情報が漏えいされたくないことが分かる。特に、40代以上は顕著に行政管理に対して消極的である。

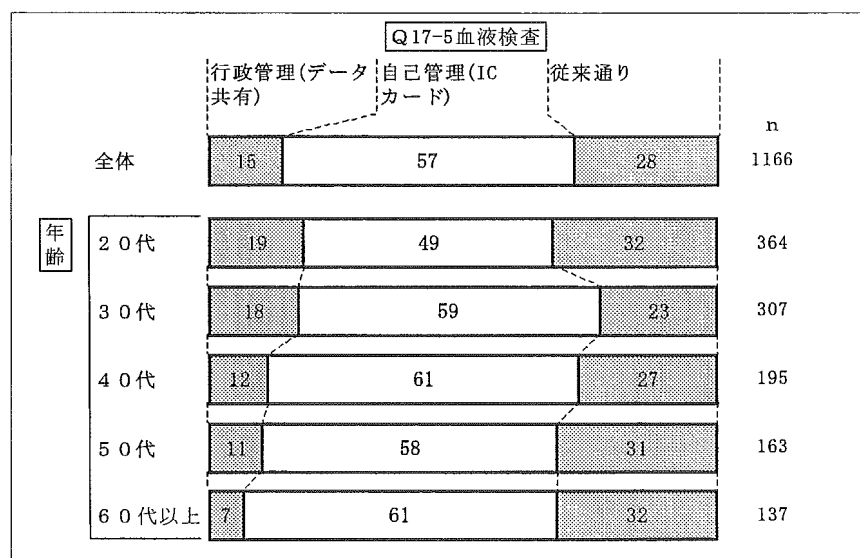


「年齢」と問 17-5「どのように血液検査の情報を管理したいか」のクロス集計分析  
質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の血液検査の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-5血液検査			不明
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	
全体		1166 100.0	150 14.9	571 56.7	286 28.4	159
年 齢	20代	364 100.0	55 18.8	144 49.3	93 31.8	72
	30代	307 100.0	49 17.8	164 59.6	62 22.5	32
	40代	195 100.0	21 12.3	103 60.2	47 27.5	24
	50代	163 100.0	16 10.9	86 58.5	45 30.6	16
	60代以上	137 100.0	9 7.4	74 60.7	39 32.0	15



#### <考察>

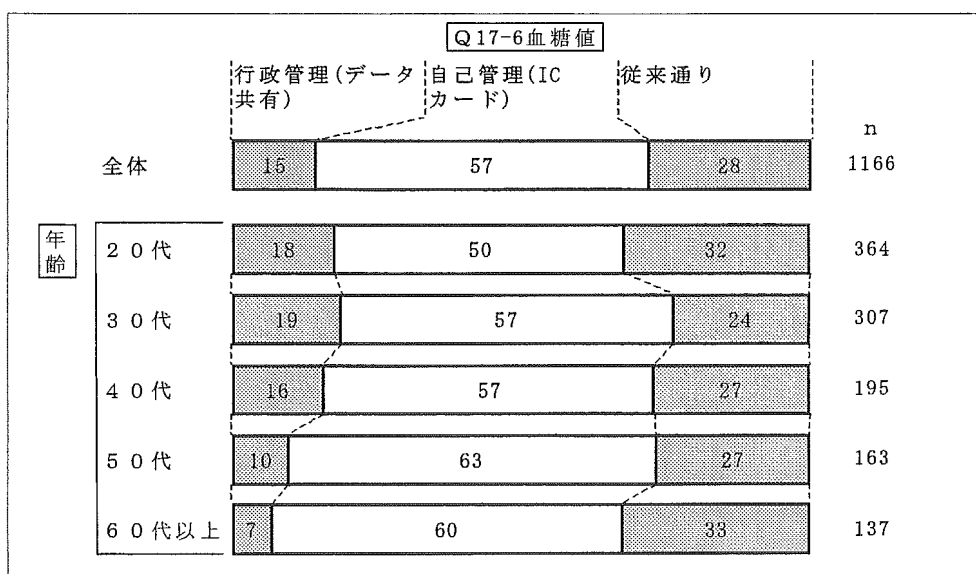
全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、血液検査については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると30代以降は年齢が高くなるにつれて自己管理の割合が高く、行政管理の割合が低くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、血液検査という情報が漏えいされたくないことが分かる。特に、40代以上は顕著に行政管理に対して消極的である。また、20代は自己管理と従来通りの差が最も小さく、行政管理の割合も他の年代よりも大きい。

「年齢」と問 17-6 「どのように血糖値の情報を管理したいか」 のクロス集計分析  
 質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の血糖値の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-6血糖値			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	153 15.2	569 56.4	287 28.4	157
年齢	20代	364 100.0	52 17.7	146 49.8	95 32.4	71
	30代	307 100.0	52 18.9	156 56.7	67 24.4	32
	40代	195 100.0	27 15.8	98 57.3	46 26.9	24
	50代	163 100.0	14 9.5	94 63.9	39 26.5	16
	60代以上	137 100.0	8 6.5	75 61.0	40 32.5	14



<考察>

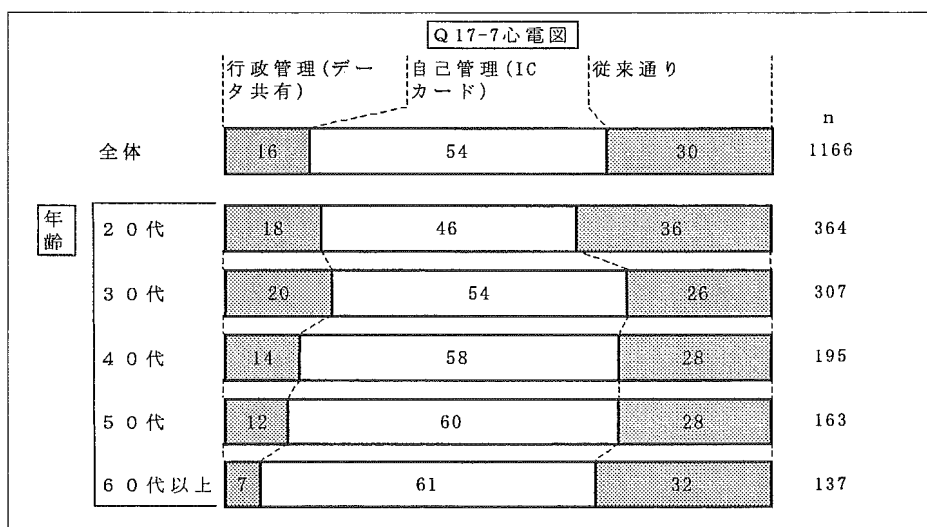
全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、血糖値については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると30代以降は年齢が高くなるにつれて自己管理の割合が高く、行政管理の割合が低くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、血糖値という情報が漏えいされたくないことが分かる。特に、50代以上は顕著に行政管理に対して消極的である。

「年齢」と問 17-7「どのように心電図の情報を管理したいか」のクロス集計分析  
 質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の心電図の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-7心電図			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	158 15.7	544 54.0	305 30.3	159
年齢	20代	364 100.0	52 17.7	136 46.4	105 35.8	71
	30代	307 100.0	56 20.4	146 53.3	72 26.3	33
	40代	195 100.0	24 14.0	99 57.9	48 28.1	24
	50代	163 100.0	17 11.6	89 60.5	41 27.9	16
	60代以上	137 100.0	9 7.4	74 60.7	39 32.0	15



#### <考察>

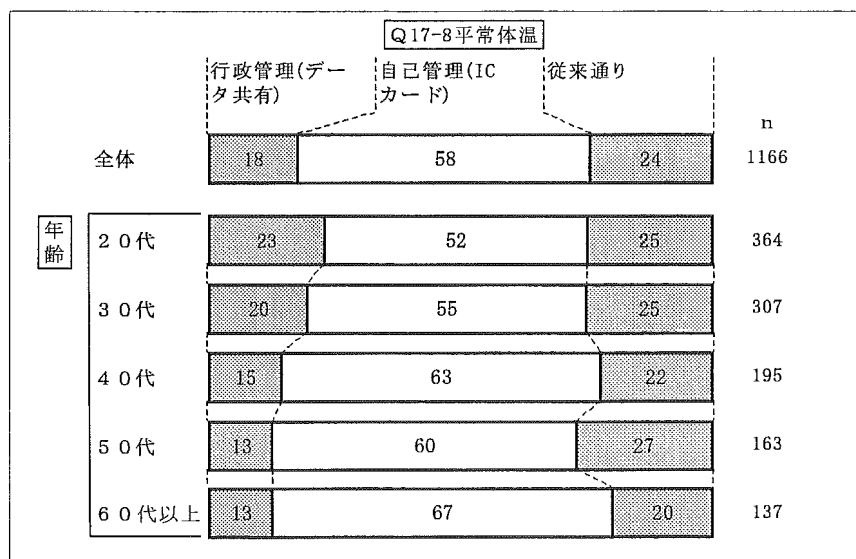
全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、心電図については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると30代以降は年齢が高くなるにつれて自己管理の割合が高く、行政管理の割合が低くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、心電図という情報が漏えいされたくないことが分かる。特に、50代以上は顕著に行政管理に対して消極的である。また、20代は自己管理と従来通りの差が最も小さく、行政管理の割合も他の年代よりも大きいため、自己管理に対してそれほど積極的でないことが分かる。

「年齢」と問 17-8「どのように平常体温の情報を管理したいか」のクロス集計分析  
 質問方法：

「あなたの年齢は」

「どのように自分の平常体温の情報を管理したいですか」

		合計	Q17-8平常体温			不明
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
全体		1166	183	580	246	157
		100.0	18.1	57.5	24.4	
年齢	20代	364	68	151	74	71
		100.0	23.2	51.5	25.3	
	30代	307	55	151	69	32
		100.0	20.0	54.9	25.1	
	40代	195	25	108	38	24
	100.0	14.6	63.2	22.2		
	50代	163	19	88	40	16
	100.0	12.9	59.9	27.2		
	60代以上	137	16	82	25	14
	100.0	13.0	66.7	20.3		



<考察>

全体では自己管理が過半数を占めている。このことから、平常体温については情報漏えいの危険性は避けたいと思っていることが分かる。また、年代別に見ると50代を除いて年齢が高くなるにつれて自己管理の割合が高く、行政管理の割合が低くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、平常体温という情報が漏えいされたくないことが分かる。